

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の指導について

羽島市立羽島中学校

国語

1 問題の結果

領域毎の結果	「話すこと・聞くこと」の領域において、全国の平均正答率を大きく上回った。 「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域においては、全国の平均正答率をやや上回った。	
設問毎の結果	全国の平均正答率を上回った設問例	<ul style="list-style-type: none">・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること (読むこと 第1学年)・話し合いの話題や方向をとらえること (話すこと・聞くこと 第1学年)・相手に分かりやすく伝わる表現について理解すること (話すこと・聞くこと 第1学年)
	全国の平均正答率を上回り、岐阜県の平均正答率を下回った設問	<ul style="list-style-type: none">・話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと (話すこと・聞くこと 第1学年)・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと (書くこと 第1学年)・封筒の書き方を理解して書くこと (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 第1学年)

2 今後の指導について

- ・単元指導計画を見直し、「言語活動を通して指導事項を身に付ける」という指導をより重視するため知識を習得する時間と知識を活用する時間を明確にし、語彙力・思考力・判断力・表現力を身に付けることができるようにする。
- ・文章のどの言葉からそう考えたのか、根拠を明確にして考えさせる。そのために授業中の発言では「どの言葉から読み取ったか」を重視し、授業のまとめを書く際にも根拠となるキーワードを示してまとめさせる。
- ・「読むこと」の学習で学んだ表現技法の効果を明らかにし、「書くこと」の学習でその表現技法を、伝えたい内容に応じて効果的に用いる学習を行う。
- ・国語の時間以外にも国語科で身に付けた言語能力を生かす場を設定し、言語能力の定着を図る。
具体的には、

- ①2年生の総合的な学習の時間「職場体験」に「お礼状」の学習を位置付けることで、封筒や手紙の書き方を理解し、相手に伝えたいことを明確にした文章を書く指導を行う。
- ②日常生活においても場や目的に応じた適切な言葉や、事実や心情を伝えるのに効果的な言葉を用いることができるように指導を行う。